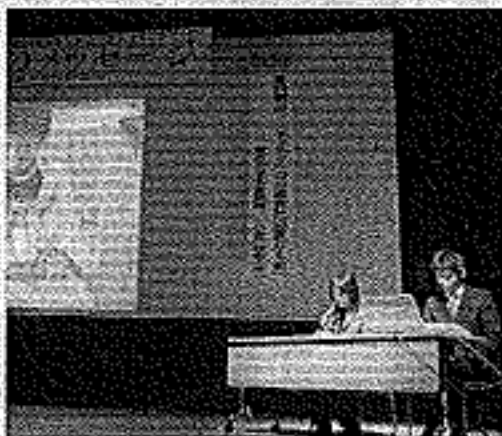


三 朝 赤ちゃん交流で 子どもに「気付き」 フォーラムで効果学ぶ

取り組みの成果を発表する参
加者＝三朝町大瀬の町総合文
化ホール



鳥取県教委委託事業
の心のふれあいプロジ
ェクト・フォーラム2
009「赤ちゃんから
のメッセージ」今、我
々に必要なのは何か
」(NPO法人未来
主催、新日本海新聞社
など後援)が5日、三

朝町大瀬の町総合文化
ホールで開かれた。教
育関係者ら約160人
が出席し、県内外で「赤
ちゃん登校日」を実践
している3団体の取り
組みや成果を聞き、理
解を深めた。
このうち、南部町法

勝寺の西伯小学校は、
コミュニケーションの
力を付けようと実践し
ており、三浦一美教諭
が成果を発表した。
三浦教諭は「子ども
たちは、優しさの原点
に返ることができ、親
への感謝の気持ちを抱
いたり、親子の絆の
強さを感じるなど、多
くの気付きがある」と

発表。「人とのコミュ
ニケーションを学ぶ授
業を確立したい」と提
案した。
この日は、東京大学
名誉教授の汐見稔幸氏
の講演や、平井伸治鳥
取県知事、高塚人志鳥
取大学医学部准教授ら
によるシンポジウムも
行われた。